

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成28年度)

施設名	県立聴覚障害者センター
指定管理者	社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
県所管部課	福祉保健部 障がい福祉課

1 施設利用状況

指 標	H28	H27	H26	増減理由等
研修室	1,895	1,608	1,982	交流ホールの利用が平成27年度と比較して減になったのは、特に大きな行事がなかったため。 研修室の利用が多かったのは、手話通訳者養成講座に進んだ受講生が多かったため。
試写室	1,902	2,186	2,238	
交流ホール	2,517	3,470	1,923	
談話コーナー	249	223	139	
合計	6,563	7,487	6,282	
コメント				

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	H28	H27	H26	支 出	H28	H27	H26
指定管理料	25,176	25,176	24,885	人件費	22,886	22,719	22,643
受取利息配当金収入		1	1	消耗器具備品費	531	474	222
その他(雑収入)	5			水道光熱費	844	969	1,019
				その他	920	1,015	1,002
合 計(①)	25,181	25,177	24,886	合 計(②)	25,181	25,177	24,886
収支差額(①-②)	0	0	0				
コメント	消耗器具備品費の増額は、センター掃除機の故障による新規購入や職員のパソコンの故障により新たに購入したことによる。また、各部屋のブラインドの故障による修理を行った。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成28年度に新たに取組んだ内容

事 項	実 施 内 容	
維持管理業務	清 掃	日常清掃、定期清掃(月末)、特別清掃(年末)、床洗浄塗布(外部委託による 年2回)
	保守・点検	県立聴覚障害者センターの安全衛生管理表をもとに各部屋の担当者ごとに①建物・備品等②消防設備③電気設備④整理整頓・衛生維持の点検を毎月末に行った。
	警 備	3階消費生活センターによる夜間・休日の常駐警備
	修 繕	ブラインドの修理、パソコンのハードディスク交換修理
	備品等管理	備品台帳に基づく点検(年1回)
	安全対策	安全点検管理表による点検(月末)、危機管理規程の整備、電光掲示板を利用した避難訓練、消費生活センター、視覚障害者センター合同による避難訓練
	その他	廊下に緊急連絡網及び自衛消防隊の組織、任務表を掲示
企画運営業務	サービス提供体制整備	(1)センターHPに掲載 ①県聴協ニュース、②手話及び要約筆記講座の案内、③全国手話検定試験及び手話通訳者全国统一試験、全国統一要約筆記認定試験の案内、④センター利用申請など利用者の利便性を図るための情報提供を行った。 (2)電光掲示板を使って、車の移動を行った。
	イベント等ソフト面充実	①「楽しもう会」開催 毎月第2、4火曜日に高齢聴覚障害者が集い、手芸、食事会、映画鑑賞など楽しい雰囲気の中で進めた。 ②耳の聞こえにくい方のための手話講習会 毎週火曜日14:00～15:30に難聴者、中途失聴者の方々を対象にした手話講習会を開催。 ③第15回手話フェスティバル 日時:平成28年10月10日(月・体育の日)10時～午後2時 会場:県立聴覚障害者センター 参加者:県内の聴覚障害者、手話および要約筆記関係者、企業、一般県民など出演者を含め約300名 ④センター手話奉仕員養成過程修了式及び交流会 3月16日(木)13:30～15:30 参加者24名 手話奉仕員養成課程修了式に引き続き、センターを利用する手話講習会受講生、聴覚障害者および講師を対象にした交流を行った。
	施設設備等ハード面充実	コミュニケーション(卓上型対話支援システム)の整備、携帯用磁器ループの整備、電光掲示板の整備
	その他	9月23日にホームページをリニューアルした。
	管理運営体制	個人情報、情報保護規程の整備。職員の能力育成のために研修会に参加した。
コメント	協定書に基づき、適正な管理が図られている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等

5 総合評価

評価コメント	協定書にも基づき、適正な管理が図られている。
今後の課題と対応	ホームページを充実させ施設の利用状況を公表しているが、もっと幅広く利用できるようにサービスの周知を行っていくことが課題としてあげられる。